

直挿式レーザ塩化水素計

TX-100

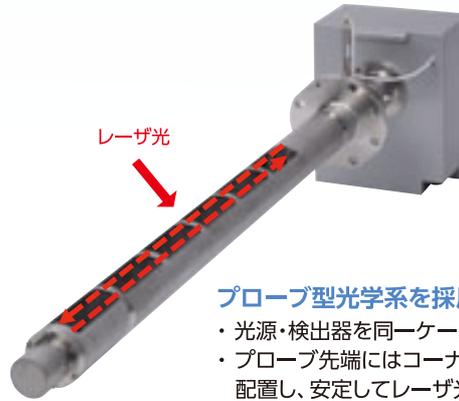


清掃工場の監視をはじめ、セメント・石油化学工場における塩化水素除去プロセスコントロールに

設置・メンテナンスコストで差がつく 直挿式レーザ塩化水素計

従来分析計の課題を解決! シングルプローブレザ分析計

- ▶ フランジ1か所で設置可能
- ▶ 追加工事なしで 既設分析計との置き換えも容易
- ▶ プローブの取り外しなしでHClの校正が可能
- ▶ ノンサンプリング計測で応答が速い
- ▶ 光軸にブレがなく安定した計測を実現
- ▶ 連続水分補正機能搭載により高精度測定が可能



プローブ型光学系を採用

- ・ 光源・検出器を同一ケースに収容
- ・ プローブ先端にはコーナーキューブプリズム (以下、CCP) を配置し、安定してレーザ光を反射

稼働状態のままHClの校正が可能

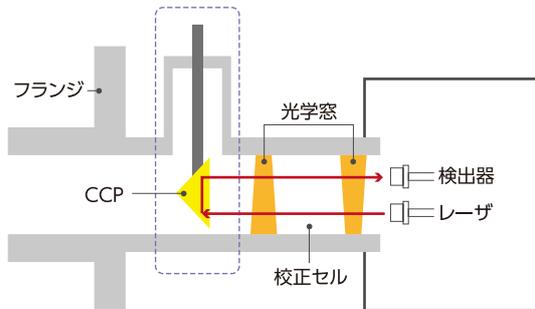
日本特許番号: 特許第6386607号 米国特許番号: US8934101 中国特許番号: ZL201280039440.7 欧州特許出願済

HORIBA独自の校正機構を用いて、施設の運転状況にかかわらず分析計のHClの校正を完了することが可能です。自動でゼロ点をチェックできるため、長期間に渡り安定した測定値を提供します。

通常測定 ゼロ点チェックと測定を交互に実施します

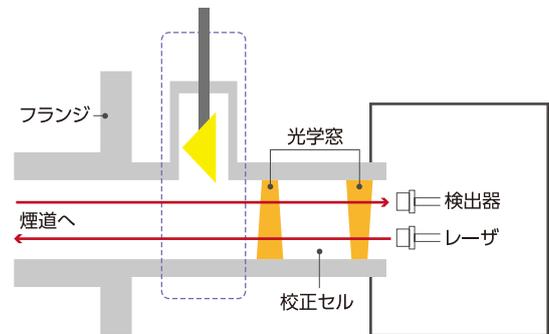
ゼロ点チェック時

定期的プリズムが光路中に挿入されて自動でゼロ点チェックを実施します。高精度な連続計測を実現。

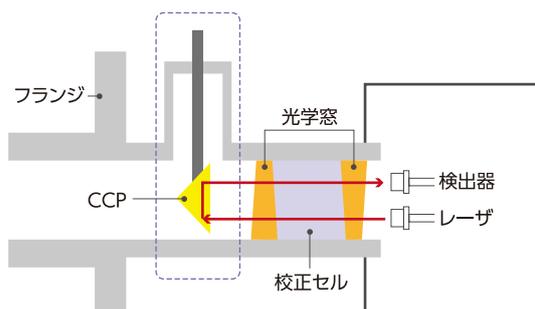


測定時

測定モードでは、CCPが上へ移動し、光路から外れます。

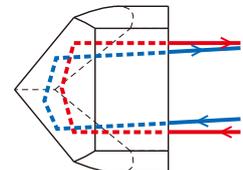


校正 校正セルにスパンガスを導入し校正を実施します 煙道から取り外さずに校正が完了。



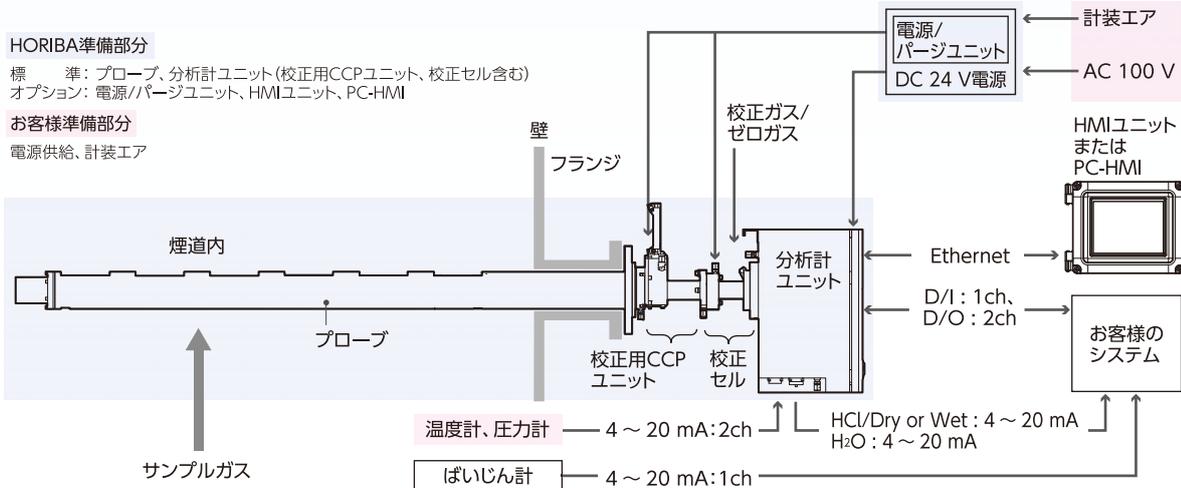
POINT

CCPは入射した方向に光を平行に返すことができます。これにより、現場の振動や熱歪みによる光軸変動を抑制することができます。



設置が容易なシンプル構造

TX-100は、プローブと分析計ユニット(校正用CCPユニット、校正セル含む)がフランジ部分で接続されており、プローブを煙道へ挿入するだけで設置できます。またAC電源および計装エアを準備すれば計測を開始できます。



全体システムの構成例

必要に応じて選択できるインターフェース

TX-100では、分析計ユニットに搭載の画面に加え、オプションにてHMI (Human Machine Interface) ユニットおよびPC-HMIを用いてのデータ管理も可能。



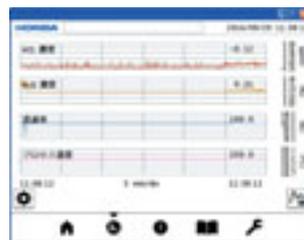
分析計ユニット搭載画面

管理に必要な各種装置状態やガス、通信状態を確認することができます。



HMIユニット(オプション)

タッチパネル式で濃度、透過率、トレンドグラフやメンテナンス情報、アラーム状態および各パラメータの設定ができます。



PC-HMI(ソフトウェア)

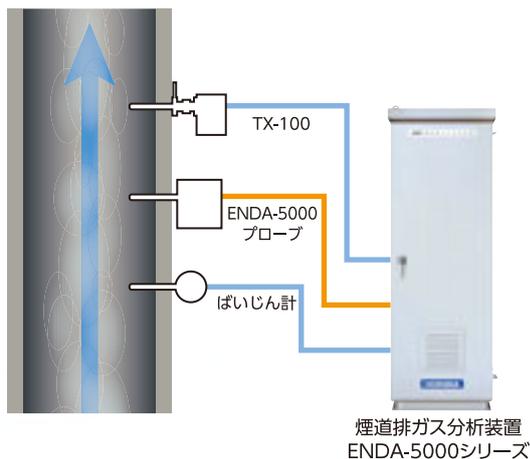
HMIユニットにインストールされているものと同様の機能を持ったソフトウェアです。お手持ちのPCなどにインストールしてご使用いただけます。

弊社ホームページにて無償でダウンロードいただけます。
ダウンロードはこちらから

URL: www.horiba.com/jp/software/tx-100/

HORIBAだからできるトータルソリューション

TX-100、煙道排ガス分析装置、ばいじん計を組み合わせると最大7成分(NO_x/SO₂/CO/CO₂/O₂/HCl/ばいじん)の計測が可能です。またHORIBAではお客様のご要望に合わせて、プランニングから施工、据付、メンテナンスに至るまで一貫したサポートをご提供いたします。



レーザ方式(TX-100)とイオン電極方式との同時測定比較

